

名古屋市立吉根中学校
第2学年 学年通信
No.5 令和5年6月12日

きずな 絆

最高の仲間とは？

- ・つらいときに支え合える仲間
- ・喜びや感動を分かち合える仲間

生徒の皆さんへ

稲武野外学習を終えて

長い時間をかけて準備をしてきた稲武野外学習活動が終わりました。活動を終えて、皆さんの心の中にはどんな思いが残りましたか？ 活動のねらいは達成できましたか？ 皆さんが振り返り用紙に何を書いたかがとても楽しみです。自分も読ませてもらいますね。



活動を終えて、自分の心の中には二つの事が印象に残っています。一つ目は、退所式でセンターの副所長さんがお話しになった一言、「ここでの経験を今後の生活にいかしてください」です。きっとどの学校に対しても話している、決まり文句のようなお言葉だったかもしれませんが、自分にとってはとても考えさせられた一言でした。振り返ると、皆さんの稲武での二日間は決して完全な二日間ではありませんでした。集合時間に遅れた人がいて、全体の進行が遅れたことがありました。係の仕事に対して責任を果たせなかった人もいました。持ち物の準備不足で注意を受けた人もいました。しおりに書いてある事をしっかり読まず、細かいルールを破ってしまった人もいました。大多数の人はきちんと行動することができていたので、それらの失敗は学年全体で考えると小さなものだったかもしれません。周りへの影響も小さかったかもしれません。もし、個人や少人数での旅行であれば、それらの失敗の影響は大きかったと思いますが、そもそも個人や少人数の旅行であれば、それらの失敗はきっとなかったでしょう。大人数が集まることで、「周りに合わせて動けば良いだろう」「誰かがやってくれるだろう」「自分一人くらいいいだろう」「何となくこうだった気がする」といった甘い考えになったり、他人任せになったりしたのではないのでしょうか。 **200人を超える大人数で、全員が当事者意識をもって行動をすることはこんなにも難しいんだ**と感じました。稲武野外学習活動は終わりましたが、皆さんの中学校生活は今後も続きます。単調な日々の繰り返しのような日常であっても、体育大会や合唱コンクールや修学旅行などの非日常であっても、センターの副所長さんのお言葉を達成できるよう、一人一人が当事者意識を高めて、今後の中学校生活を送ってほしいと思います。

二つ目は、キャンプファイヤーです。あの一時間半のために、本当にたくさんの先生や実行委員が入念な準備をしてきました。また、周りの人もその頑張りや思いを受け止め、素直な気持ちで楽しもう、全力で盛り上げようとしていました。そして、最後に一つの円になって『友よ』を歌った時には、この

学年の強いエネルギーと一体感と将来性を感じました。**200人を超える大人数で、全員の力を合わせるとこんなにも大きな感動を得られるんだ**と感ずることができた瞬間でした。まだまだ未熟で課題は多いけど、きつとこの学年ならこの後の日々も幸せに過ごしていける、そして、いつか来る卒業の日はきつとこの学年と離れたくないと心から思える、そう感じました。今後も、すぐ側にいる仲の良い友達、この活動で少しだけ仲良くなれた学級の友達、今後仲良くなるかもしれない学年の全員と、協力しようとする気持ちを大切に、残りの中学校生活を過ごしていきましょう。 学年主任

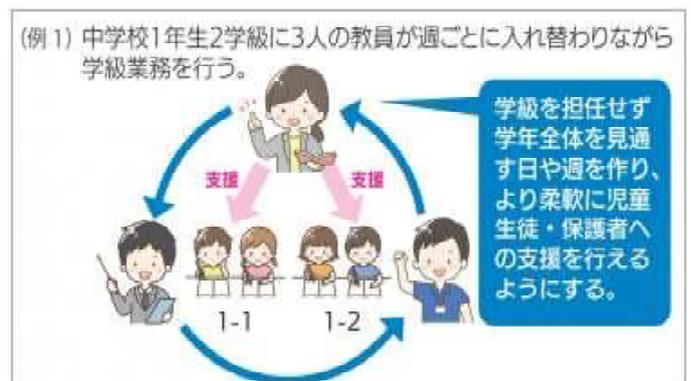
2年生の新しい取り組み

稲武野外学習活動も終わり、日常の学校生活が再開します。その中で、2年生は新しい取り組みをしていきます。その取り組みとは、**学級担任ローテーション**というものです。

【学級担任ローテーションとは？】

近年、少しずつではありますが、学年担任制という制度が世間的に広がりを見せています。東京都千代田区立麴町中学校という先進的な教育を進めている中学校の注目を浴びた取り組みで、名古屋市内の中学校で実施をしている学校もあります。また、神戸市や大阪市は一部の中学校をモデル校にして実施を進め、茨城県や富山県ではすでに全中学校で実施をしている自治体もあります。

学年担任制とは、従来の学級担任が一年を通して一つの学級の担任をする学級担任制に対して、学年に所属する全職員が一定期間で担任を交代しながら進めるという制度です。学級担任制よりも、生徒の主体性の向上と、学級間格差の解消と、生徒と先生の関係性の広がりが期待されると言われています。ただ、すでに導入をしている学校では、メリットだけでなくデメリットもあったようです。なので、学年担任制はベストではないが、学級担任制よりはベターな選択であると言われています。



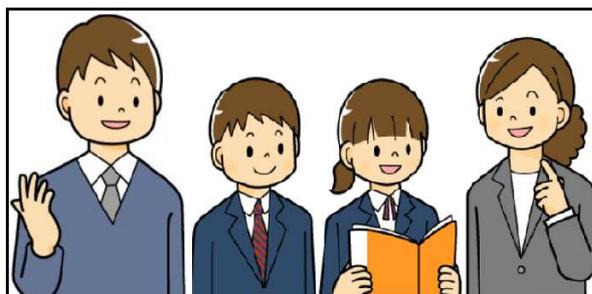
そこで吉根中学校では、学級担任制と学年担任制の両方のメリットを取り入れた学級担任ローテーションという制度を2年生で実施していきます。(昨年度の2年生でも、すでに昼食指導をローテーションで進めるという試みをしていました。)

4月からすでに学級担任制で進めていますが、6月の第3週からは一週間交代で担任の先生が交代をしていきます。ただし、交代するといっても今後ずっと交代で進めていく訳ではありません。行事等がない時期のみ交代で進め、行事等がある時期はこれまでどおり、担任の先生が学級に入り、個人懇談会、教育相談、行事等への指導は担任の先生が中心となって進めていきます。また、担任業務のすべてを交代する訳ではありません。これまでどおり、担任の先生は変わりません。朝の連絡、昼食指導、学級活動、帰りの会、清掃指導を学年所属の先生が交代しながら進めていきます。

【なぜ学級担任ローテーションをするの？】

学級担任ローテーションを実施する大きな理由は二つあります。一つ目は、学年所属の先生が、学年の生徒全員と関わる機会が少ない、生徒が学年所属の先生全員と関わる機会が少ない事を解消するためです。吉根中学校2年生の規模では、学年の全クラスの授業を一人の先生が担当する教科（数、音、体、美、技家）もあれば、複数の先生が担当する教科（国、社、理、英）もあります。そのため、同じ学年に所属していても、ほとんど関わりがない先生と生徒がいるのが現状です。自分は一学年に三学級の規模から七学級の規模までの、大中小の様々な規模の学校を経験してきましたが、やはり学校の規模が大きくなればなるほど、関わりが希薄になってしまう生徒が増えることを残念に感じていました。学級担任ローテーションを実施することで、先生は皆さんに声を掛ける機会や皆さんの変化に気づく機会が増え、何かあった際には、担任の先生を含めた複数の先生での対応がしやすくなります。また、皆さんは担任の先生以外の先生と関わる機会が増えるので、これまで以上に何かあった際に相談できる先生が増えるはずです。

二つ目は、皆さんの主体性の高まりが期待できるためです。これまでも、皆さんと担任の先生が話し合いながら、一緒に決めてきたことがたくさんあると思います。学級内の決めごとや席替えや掃除当番などは、すでに各学級ごとの特徴が出ています。担任の先生がローテーションをすることで、さらに皆さんが学級の中心となり、それに伴う責任も生まれ、皆さんの主体性の高まりが期待されます。担任の先生はローテーションをしますが、担任の先生以外の先生も皆さんに対して必要な声掛けをするので、これまでとは違う考え方に触れる機会が増え、新しい発想が生まれてくることと思います。稲武野外学習活動の反省にもありましたが、一人一人が学級運営の当事者意識をもつことが必要であり、自分は学級を構成している一員であるという意識を高めることが大切です。



【心配だけど大丈夫？】

完全な学年担任制をすでに導入した学校においては、事後のアンケートで「先生との関係が希薄になりそう」「どの先生に相談したらよいか分からない」「本当にメリットはあるのか」という心配の声もあったようです。まず、皆さんが担任の先生と接する機会が減ることは間違いありませんが、それ以上にいろいろな先生と接する機会が増えることが、中学生という多感な時期には必要なことだと、自分は考えます。また、吉根中学校の取り組みでは、基本の学級担任が変わることはありません。何か相談したいことがあったら、担任の先生でもよいですし、他の先生でもよいです。他の先生に相談するという選択肢が増えたと考えて、自分が一番相談しやすい先生に相談してください。また、この取り組みは皆さんが3年生になって、新しい学級担任が決まったときにも効果があります。1、2年生でまったく関わりがなかった先生が学級担任になった場合、ゼロから関係を築く大変さが少しは軽減されるはずです。短い期間では分かりにくいですが、長い期間でとらえたときに必ず多くのメリットがあるはずです。

新しい取り組みが始まるのでたくさんの説明をしましたが、皆さんならきっと、この取り組みを上手に活用してくれると信じています。そして、高い当事者意識をもって、よりよい中学校生活を築き、自分自身や学年全体の大きな成長に繋げてくれると信じています。

学級担任ローテーション 予定表

週	①	②	仮	仮	仮	仮	仮	仮
日付	6/19 ~	6/26 ~	10/2 ~	11/20 ~	11/27 ~	12/11 ~	1/15 ~	1/22 ~
1 組								
2 組								
3 組								
4 組								
5 組								
6 組								

※ 一週間単位で担当します。表にない期間は基本の担任が担当します。予定は変わることもあります。

保護者の皆様へ

先日の稲武野外学習活動では、保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。今回の活動では、生徒の良い面を本当にたくさん見ることができ、1年生の頃から考えると、とても大きな成長を感じました。まだまだ課題はありますが、とても有意義な活動になったと思います。生徒の感想は、6月末に発行予定の学年通信に掲載しますので、もうしばらくお待ちください。

さて、上にも書きましたが、吉根中学校の新たな取り組みとして、学級担任ローテーションを実施いたします。学級担任が交代しながら学級経営を進める時期を設定することで、保護者の皆様におかれましてもご不安に思われることや、ご不明な点もあると思います。実は、昨年度から準備を進めており、すでに実施している他の学校の情報も集めていました。この取り組みを進める上で最も大切な事は、先生間の連絡を密にし、先生同士がチームとして連携して生徒の問題に対応することなので、その点に注意をしながら進めて参ります。そして、この取り組みに対する保護者の皆様のご不安を、少しでも取り除くことができるよう、学年通信等を通して定期的にご連絡を差し上げます。また、今年度の終わりには、次年度に向けたアンケートを実施する予定です。改善点等がありましたら、そちらにご記入いただくと助かります。時折、報道でも取り上げられることがある、有意義な取り組みであることは間違いないと思いますので、吉根中学校の新しい取り組みとして、より良いものにしていければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

※ お預かりしていた緊急連絡先と保険証のコピーを、お子様を通じて返却させていただきました。